

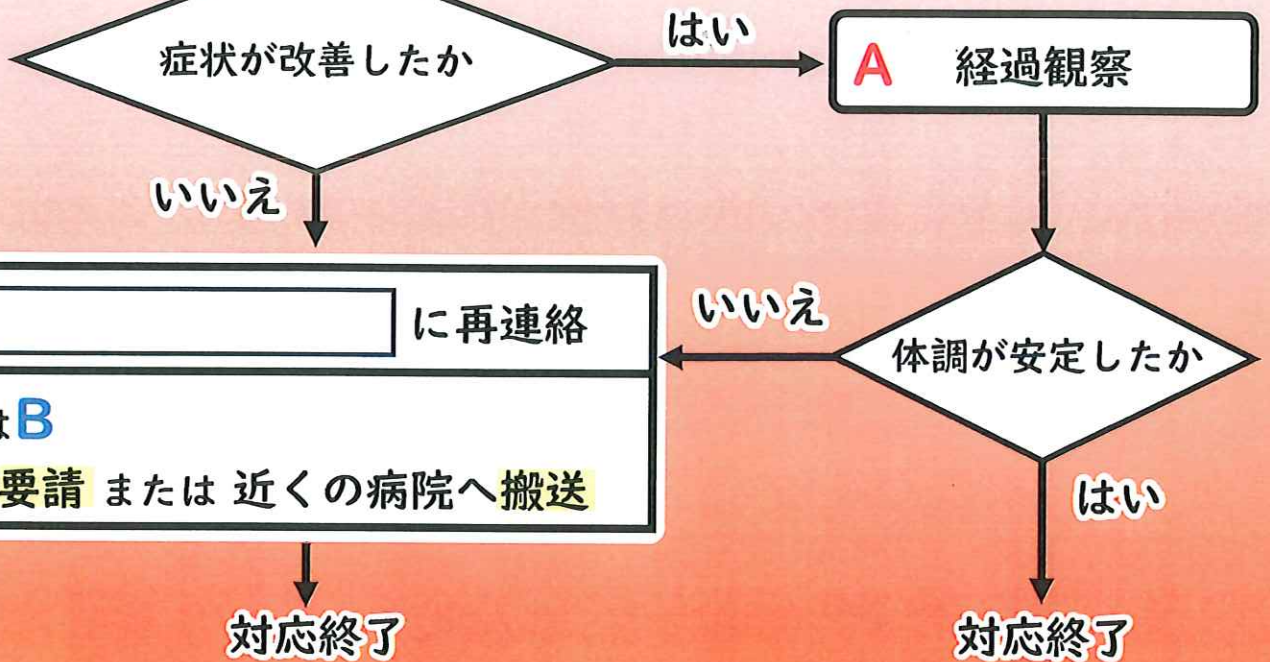
作成日： 年 月 日

作成者：

熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図

- A** ・ 熱中症発症または熱中症患者発見
・ **B** に連絡
・ 作業を中断して応急処置
(身体冷却・水分補給など)

A：あなた
(発症者・発見者)
B：熱中症担当者



熱中症のおそれがある時の連絡体制

熱中症が疑われる主な症状例：【他覚症状】ふらつき、生あくび、失神、大量発汗、痙攣 等
【自覚症状】めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温 等

① 熱中症担当者

担当者：

TEL：

- ・ **A**は**B**に連絡がつかない時は
応急処置や陸上・洋上救急要請を
優先し、事後に**B**へ連絡すること。

② 救急・近隣病院

陸上救急要請 119 番

洋上救急要請 118 番

近くの病院：

住所：

TEL：

仕事が終わった後でも、体調が悪化したと感じたら、すぐに救急隊を呼んでください！
熱中症は回復後に症状が悪化する場合があります！